水素利活用推進プロジェクト

1　プロジェクトの概要

本県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、**再生可能エネルギー由来の水素**を多様なエネルギー源の一つとして**利活用する取組**を通じて、**低炭素で持続可能な社会の実現**を目指す。

（1）　地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進
（2）　水素関連製品等の普及促進
（3）　水素関連ビジネスの創出・育成
（4）　水素の理解促進・地域連携

2　これまでの取組状況

（1）　再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

- 二戸市において太陽光発電を利用した水素製造と園芸・畜舎等への利活用の可能性を調査（R3）

（2）　水素関連製品等の普及促進等（水素ステーション整備に向けた取組）

- 岩手県水素ステーション等研究会を設置（R1）
- 関係市町村や関連企業と継続的に情報交換等を実施（R1～R3）
- 事業者や市町村向けの水素の理解促進を目的としたセミナー等を開催（R1～R3）

【国の動き】

- 水素ステーション整備目標（2021年６月設定、2030年：1,000基）
- 水素ステーション設置に係る国の補助拡充

3　令和４年度の具体的な取組

（1）　再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

再生可能エネルギー由来の水素を利活用する実証事業に向けた調査、実証事業参加への企業意向調査を実施

（2）　水素関連製品等（水素ステーション等）の普及促進

- 事業者や市町村向けの水素利活用促進セミナーを開催
- 水素ステーションや燃料電池自動車のモデル導入の支援等を実施

（3）　水素関連ビジネスの創出・育成

- 事業者向けの水素関連産業に係る勉強会を開催

（4）　水素の理解促進・地域連携

- 県民向けの水素に関する理解促進を目的としたセミナーを開催
- 燃料電池自動車の実走行を通じて水素利活用の普及啓発を実施

4　今後の取組方向

■　再生可能エネルギーの余剰電力等を有効活用した水素を、日常生活や産業活動において利活用する実証事業の実施、事業者等と連携した利活用の推進

■　水素ステーション（水素ＳＴ）、燃料電池自動車（ＦＣＶ）、燃料電池フォークリフト（ＦＣフォークリフト）、家庭用・産業用燃料電池などの水素関連製品の導入の働きかけ

■　再生可能エネルギーからの水素製造・貯蔵、設備設置工事、メンテナンスなどの水素関連ビジネスの創出・育成に向けた取組の推進

■　水素の安全性や利便性についての普及啓発、環境学習を通じた理解促進、シンポジウムやセミナーでの水素利活用の取組紹介、イベントでの展示等による水素の理解促進